

令和 8 年 8 月 2 8 日

見附市議会議長 様

見附市議会議員 佐野 統康

一 般 質 問 通 告 書

下記のとおり質問したいので、会議規則第 6 1 条第 2 項の規定により通告します。

質問事項 (主題を記載してください。議場配布の一覧表に印刷)

【1】ネーブルみつけの今後の在り方について

答弁を求める者 市長

市民交流センター「ネーブルみつけ」は、2004 年(平成 16 年)7 月 3 日にオープンしました。

様々なイベントが開催され、市民の憩いの場として親しまれています。

オープン後、間もなく発生した 7・13 水害や中越大震災の時には、災害対策の拠点として市民生活を支援しました。

2018 年(平成 30 年)2 月に、一般社団法人見附市観光物産協会を市内の観光と物産振興を目的にネーブルみつけ内に設立し、物産品のインターネット販売「どまいち」や直売所「みらい市場」の運営も 9 年目になっています。

また、2004 年のオープン以来、多くの親子に利用されている学校町子育て支援センターや、見附市の健幸政策の象徴として全国から視察を受け入れてきた、健康運動教室を開催する「いきいき健康づくりセンター」も市民に利用してもらっています。

2004 年のオープン当初は、毎週のようにイベントが開催され、平成 20～21 年頃のネーブルみつけの来場者数 54 万人をピークに、見附市の人口減少に合わせる様に毎年来場者は減り続けている様です。

オープン以来 22 年が経過して、市内に道の駅「パティオにいがた」、三条に「JA えちご中越農産物直売所 だいまーと」他、近隣市に多数の商業施設が出来た事も一因にあるでしょう。

ネーブルみつけの建物は、1990 年(平成 2 年)11 月オープンしスーパーマーケットが前身であり、既に 36 年が経ち老朽化も進み、

※ 番号のつけ方 (大項目) 1 2 3 (中項目) (1) (2) (3) (小項目) アイウ



これから大規模な修繕も行われるかと思われます。

- (1) 過去5年間の「ネーブルみつけ」の来場者の推移と、市の今後の「ネーブルみつけ」の建物の改修等に関しての方針を伺う。
- (2) 過去5年間の「みらい市場」の売上推移と、運営する一般社団法人見附市観光物産協会の役割・位置付けと今後の協会の将来像を伺う。
- (3) 「みらい市場」内の冷蔵施設も老朽化が著しく、今後に不安があると、出店業者・企業の声を聞いている。
アンテナショップとして、市内業者・企業の産業振興支援も必要と考えるが、市の見解を伺う。
- (4) 認定こども園見附みどりこども園を運営する社会福祉法人みどり社会福祉協会が、来年4月より学校町で多機能子育て支援拠点を新設する事に伴い、ネーブルみつけ内の学校町子育て支援センターが、来年3月に役割を終えるとの事。
今後の空きスペースの利活用方針を伺う。
- (5) いきいき健康づくりセンターで運営する健康運動教室の過去5年間の利用状況を伺う。
少子高齢化・人口減少に対応する市の健幸政策として、健康運動教室の今後の方針について伺う。